

岩手地方最低賃金審議会第4回専門部会議事要旨

岩手労働局

令和7年8月21日午後1時30分～午後4時05分

○ 主な審議事項〈公開・**非公開**〉

- 1 全国の審議状況について
- 2 金額審議
- 3 その他

出席状況

公益

3/3

労側

3/3

使側

3/3

○ 審議要旨

- 1 全国の審議状況について

事務局より、全国の審議状況について情報提供された。

- 2 金額審議

労働者代表委員から、5回目及び6回目の金額の提示がなされた。

労働者代表委員からは、岩手県の消費支出額は全国平均より高いことから、最低賃金の引上げによる経済の循環を向上させる必要がある。などの主張があった。

使用者代表委員から、5回目の金額提示はなされたが、6回目の金額提示は見送られた。

使用者代表委員から、1人当たりの市町村民所得の県内格差や倒産発生率が岩手県は昨年度全国最下位となっている等の実態を踏まえ、慎重に議論を行うべきである。などの主張があった。

部会長の提案により公労、公使での話し合いが行われた後に全体会議を再開したが、労使の金額提示の差が大きく、歩み寄りが見られないことから、継続審議が必要との部会長判断により、次回専門部会を開催することで労使とも承諾した。

- 3 その他

なし。